



福岡県医第2088号(地)
平成23年12月 9日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

平成24年度産業医基本講座の開催について

産業医科大学産業生態科学研究所より、標記講座を開催する旨、通知がありましたのでご連絡申し上げます。

本講座は、産業医科大学の教員と現職の産業医等が、産業医学の基本的な知識から産業医活動に必要な実践的な技術までを集中して提供する研修であり、産業医学の専門的な研究と教育を推進する産業生態科学研究所が運営しております。

つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、

- 1) 受講希望者は、産業医科大学研究所庶務課 TEL(093-691-7400)または、電子メール(iessyom@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp)にて直接お申込いただきますようお願いいたします。
- 2) 本講座のすべての科目を履修されますと、日本医師会の「認定産業医」の申請資格が得られます(修了認定後5年以内)。

記

1. 日 時 平成24年4月4日(水)～5月22日(火)
2. 会 場 産業医科大学産業生態科学研究所 他
3. 受 講 料 210,000 円
4. カリキュラム 別紙のとおり
4. 対 象 医師、歯科医師、修士の学位を持ち産業医科大学が認める者
5. 申込期間 平成23年12月1日(木)～平成24年2月3日(金)
8. お問合せ先 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
産業医科大学産業生態科学研究所 庶務課
TEL: 093-691-7400
FAX: 093-692-1838
E-mail: iessyom@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp

小郡三井医師会より

産業保健担当理事 権藤秀之
会長 蒲池 壽

「産業医学基本講座」は、産業医学と産業医活動に関して、短期間で体系的に履修できる国内唯一の専門研修です。



産業生態科学研究所全景

開講要領

日程／平成24年4月4日(水)～5月22日(火)

場所／産業医科大学産業生態科学研究所 他

受講料／210,000円

受講資格／医師、歯科医師、修士の学位を持ち産業医科大学が認める者

願書提出先／産業医科大学研究所庶務課(電話093-691-7400、電子メール*liessyom@pub.uoeh-u.ac.jp*)

願書提出期間／平成23年12月1日(木)～平成24年2月3日(金)

概要

産業医科大学の教員と現職の産業医等が、産業医学の基本的な知識から産業医活動に必要な実践的な技術までを集中して提供する研修で、産業医学の専門的な研究と教育を推進する産業生態科学研究所が運営しています。昭和59年(1984年)、本学医学部第1回生の卒業に合わせて専門的な産業医を育成する卒後教育課程として設けられた研修ですが、平成8年(1996年)の労働安全衛生法改正に伴い、本学以外の卒業生も受講できるようになったものです。すべての科目を履修された方には、「産業医学ディプロマ(Diploma of Occupational Health)」の証書が授与されます。これまで28年間に2,800人を超える医師等が受講し、約70%が修了しています。なお、例年10人前後は本学以外の卒業生が占め、本学卒業の若手産業医と交流を深めていただいています。

特典

すべての科目を履修した方には、次の特典があります。

- 1 産業医科大学が発行する「産業医学ディプロマ」を取得できます(日英両語対応)。
- 2 労働安全衛生法に基づき労働安全衛生規則第14条第2項の「産業医」の資格が得られます(医師に限る)。
- 3 国家資格の「労働衛生コンサルタント(保健衛生)」の筆記試験が免除されます(医師・歯科医師に限る)。
- 4 日本産業衛生学会専門医制度資格認定試験受験資格の「体系的な基礎研修」を履修済みと認定されます。
- 5 日本医師会の「認定産業医」の申請資格が得られます(修了認定後5年以内)。

研修内容

産業医学の基本的な知識として、産業医の制度と関係法令、職業関連性疾患とその予防、疫学的な考え方等について、各分野の専門家がわかりやすく解説します。産業医活動に必要な実践的な技術として、作業環境測定と快適職場の形成、労働衛生保護具の使い方、職場巡視の進め方、健康管理と健康増進の実践、労働衛生管理体制の構築等について、講義に加えて少人数グループによる実習を行います。各科目の詳細は次の通りです。

体系的な講義

1コマ/90分

産業保健の基礎

6コマ

産業医の業務・専門性・教育、産業医学の課題、産業保健サービス提供組織、経営者・労働者と産業医学、産業医学の国際的視点

産業医制度と関係法令

7コマ

日本の産業医制度とその実態、労働基準法、労働衛生関係法令、労働衛生行政の方針とその展開、産業医に必要な労働者災害補償保険法の知識、我が国の自主的安全衛生活動と今後の在り方

総括管理とその基盤

(①情報の管理と活用)

5コマ

産業保健の経済的評価、産業保健におけるデータベース・ネットワーク、健康情報の取り扱い、産業保健マーケティング

総括管理とその基盤

(②労働衛生管理体制・労働衛生教育および職場巡視)

11コマ

産業保健活動のための組織、産業保健スタッフの職能、産業保健におけるリスク・ハザードへの対応、職場巡視の意義とその概要、労働安全衛生教育と産業医、適正配置、中小企業産業保健活動

総括管理とその基盤

(③労働安全衛生マネジメント)

6コマ

産業保健とマネジメントシステム、産業保健マネジメントシステムの具体例(1)、産業保健マネジメントシステムの具体例(2)、内部監査と継続的改善

総括管理とその基盤

(④免疫)

9コマ

産業医学における疫学の役割、疫学概論、疾病頻度の測定、曝露の測定、記述疫学、コホート研究、症例対照研究Ⅰ、症例対照研究Ⅱ、疫学と因果関係における統計的問題

作業環境管理と快適職場

6コマ

概論・作業環境測定、サンプリング・評価値、粉じん職場、有機溶剤職場、環境改善の方法、騒音とその対策

作業管理

7コマ

産業保健人間工学を理解する、職場改善の考え方と技法、全身および局所振動暴露評価、筋骨格系障害の予防Ⅰ、筋骨格系障害の予防Ⅱ、産業疲労の捉え方、産業医学への人間工学の応用：VDT作業

健康管理と健康増進

(①健康診断と事後措置)

3コマ

健康診断の実施計画、判定と事後指導、適正配置、有害業務の関連(酸欠、ホルムアルデヒドなどの有毒ガス取扱い)

健康管理と健康増進

(②特定の労働者の健康管理)

2コマ

生活習慣病(循環器、糖尿病・高脂血症等)、健康の保持増進

健康管理と健康増進

(③健康増進)

6コマ

ヘルスプロモーション・総論、健康教育・保健指導の実践、健康と運動、職場のメンタルヘルス概論、メンタルヘルス不調者の職場復帰支援、心身の健康増進の実践と今後の展望、アルコール関連問題とその対応

職業関連性疾患とその予防

(①物理的要因、作業態様による健康障害とその予防)

5コマ

職業関連性腰痛、振動障害、騒音性難聴、熱中症

職業関連性疾患とその予防

(②化学的要因による健康障害とその予防)

8コマ

産業中毒学概論、バイオロジカルモニタリング、変異原性と発癌性、発癌性を予測する短期試験、職業関連性呼吸器疾患、職業関連性皮膚疾患、職業関連性血液疾患

充実した実習

1コマ/90分

実習1 作業環境管理・作業管理・疾病管理

15コマ

作業改善の実践、排気・換気装置の維持、性能検査、作業環境改善実習、職場の喫煙対策、じん肺胸写読影

実習2 健康管理・健康増進・メンタルヘルス

15コマ

健康増進・メンタルヘルス対策の企画・立案、健康増進活動に対する評価、THP実習、質問紙を使った精神症状評価とデータ解析、メンタルヘルス教育のすすめ方、リラクゼーションの理論と実際、職場環境改善

実習3 総括管理(疫学・職場巡視)

15コマ

企業活動におけるコスト、企画作成、調査・まとめ・発表、統計演習、職場巡視の方法

演習

20コマ

特別に興味のあるテーマを持つ受講者は、各科目責任者の個別指導により、さらに詳細な学習を行うことができます

その他

各講義について、受講者による講義評価を実施し、産業医学基本講座の充実に役立てることとしています

講義・実習日程

1時限 8:50～10:20

/ 2時限 10:30～12:00

/ 3時限 13:00～14:30

/ 4時限 14:40～16:10

/ 5時限 16:20～17:50

区 分	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	V	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	V	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	V	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	V	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	V
第1週	4月2日(月)					4月3日(火)					4月4日(水)					4月5日(木)					4月6日(金)				
4月2日～4月6日																産業保健の基礎					産業医制度と関係法令				
コ マ																①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④
第2週	4月9日(月)					4月10日(火)					4月11日(水)					4月12日(木)					4月13日(金)				
4月9日～4月13日	総括管理とその基盤①					総括管理とその基盤②										総括管理とその基盤③					総括管理とその基盤④				
コ マ	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③
第3週	4月16日(月)					4月17日(火)					4月18日(水)					4月19日(木)					4月20日(金)				
4月16日～4月20日	実習1					実習1					総括管理とその基盤④					作業環境管理と快適職場					健康管理と健康保持増進①				
コ マ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③
第4週	4月23日(月)					4月24日(火)					4月25日(水)					4月26日(木)					4月27日(金)				
4月23日～4月27日	実習1					実習2					作業管理					健康管理と健康保持増進③					(休講)				
コ マ	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③					
第5週	4月30日(月)					5月1日(火)					5月2日(水)					5月3日(木)					5月4日(金)				
4月30日～5月4日	(休日)					(休日)					(休日)					(休日)					(休日)				
第6週	5月7日(月)					5月8日(火)					5月9日(水)					5月10日(木)					5月11日(金)				
5月7日～5月11日	実習2					実習2					健康管理と健康保持増進②		職業関連性疾患とその予防①			職業関連性疾患とその予防②									
コ マ	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	①	②	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
第7週	5月14日(月)					5月15日(火)					5月16日(水)					5月17日(木)					5月18日(金)				
5月14日～5月18日	実習3					実習3					実習3					演習(補習)					演習(補習)				
コ マ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮										
第8週	5月21日(月)					5月22日(火)					5月23日(水)					5月24日(木)					5月25日(金)				
5月21日～5月25日	演習(補習)					演習(補習)																			
コ マ																									

*受講者から個別に特段の申し出がない限りは、原則として、演習(補習)については実施いたしません。従って、5月16日(水)実習終了後修了式を行う予定です。

